

# 資料編

1 第2次計画の目標及び参考指標一覧	114
2 第1次計画の目標達成状況	122
3 用語解説	124
4 統計資料・参考資料等	129
(1) がんの罹患・死亡	129
① がんの罹患数の推移	
② 3大死因による死亡者数の推移	
③ 3大死因による年齢調整死亡率の推移	
④ 年齢階層別のがん死亡者数及び死亡割合	
⑤ がんの部位別死亡者数	
⑥ がんの部位別死亡者数の推移	
⑦ がんの部位別年齢調整死亡率の推移	
⑧ 年齢階層別・部位別死亡者数	
⑨ 75歳未満年齢調整死亡率・死亡改善率の全国比較	
(2) がん検診	132
① がん検診受診率	
② 市町が実施するがん検診受診率の推移	
③ 市町別のがん検診受診率	
④ 市町が実施するがん検診 精検受診率・精検未把握率	
⑤ 市町のがん検診精度管理の状況	
⑥ 広島県独自調査によるがん検診受診状況	
⑦ 県政世論調査結果	
⑧ 健康保険の被扶養者に対するがん検診実態調査アンケート結果	
⑨ 従業員のがん検診に対する意識・行動等調査結果	
⑩ がん検診に関するインターネット調査結果	
(3) がん医療	138
① がん診療に係る専門医等の配置状況	
② 各がんの医療連携体制（広島県がん医療ネットワーク）	
(4) 県民意識調査等	144
① 広島県県民健康意識調査結果[喫煙・運動・飲酒の状況]	
② 国民生活基礎調査による喫煙率の推移	
③ 地域緩和ケアの提供体制構築に関する地域資源実態調査	
5 計画の策定体制	146
(1) 広島県がん対策推進協議会設置要領	146
(2) 広島県がん対策推進協議会部会運営要領	147
(3) 平成24年度 広島県がん対策推進協議会及び部会委員等名簿	148
(4) 計画策定に係る協議会等の検討状況	150
(5) 計画の検討体制と基本項目	151

## 1 第2次計画の目標及び参考指標一覧

## 【全体目標】

項目		現状	目標	現状の出典
◎ 75歳未満の年齢調整死亡率(人口10万対)	男女計	80.5人 (H23) 【全国20位】	72.5人	(国立がん研究センター がん対策情報センター)
	男性	106.6人 (H23) 【全国25位】	95.9人	
	女性	56.9人 (H23) 【全国14位】	51.2人	
◎ すべてのがん患者及びその家族の苦痛の軽減並びに療養生活の質の維持向上				
◎ がんになっても自分らしく豊かに生きることのできる地域社会の実現				

## 【分野目標及び参考指標】

## (1) がん予防

項目		現状	目標	現状の出典
ア たばこ対策の強化				
◎ 喫煙率	成人男性	26.9% } (H23年度)	22%以下	県民健康意識調査 (広島県)
	成人女性	5.5% }	5%以下	
◎ 禁煙・分煙実施の公共機関等の割合	公共機関	92.4% }	100%	(広島県健康対策課)
	学校	100.0% }	100%	
	病院	100.0% }	100%	
イ 生活習慣の改善				
1日食塩摂取量		10.9g (H17-19年度)	8g以下	国民健康・栄養調査 (厚生労働省)
1日野菜摂取量		261g (H17-19年度)	350g以上	
1日平均歩数	20歳～64歳	成人男性	8,252歩 } (H17-19年度)	9,700歩以上
		成人女性	7,109歩 }	8,600歩以上
	65歳以上	成人男性	5,584歩 }	7,000歩以上
		成人女性	4,718歩 }	6,200歩以上
多量飲酒者の割合	成人男性	4.2% (H23年度)	3.2%以下	県民健康意識調査 (広島県)
	成人女性	1.0% (H23年度)	0.2%以下	
禁酒・断酒指導実施の市町数		16市町 (H23年度)	全23市町	(広島県健康対策課)
ウ 感染症対策の強化				
◎ 肝炎ウイルス検査実施体制整備済みの職域(事業所)割合		33% (H23年度)	50%以上	職域での肝炎対策実施 状況調査(広島県)
◎ 肝炎ウイルス検査で発見された、 肝炎ウイルスキャリアの受診率	B型肝炎ウイルス (HBV)キャリア	48% } (H14-21年度 累計)	60%以上 (H28)	H21年度厚生労働 省研究班調査
	C型肝炎ウイルス (HCV)キャリア	65% }	75%以上 (H28)	
◎ 子宮頸がん予防ワクチン接種率		77.0% (H23年度)	85%以上	(広島県健康対策課)

表の◎印は「全体目標」又は「分野目標」、その他は「参考指標」

## (2) がん検診

項目	現状	目標	現状の出典		
ア 科学的根拠に基づくがん検診の実施					
市町における、科学的根拠に基づくがん検診の実施	全23市町	全23市町で継続実施	(広島県がん対策課)		
イ がん検診の精度向上					
◎ 市町検診の精密検査受診率 〔※対象は40歳～69歳 子宮がんのみ20歳～69歳〕	胃	76.2%	(H21年度)	80%以上	地域保健・健康増進 事業報告 (厚生労働省)
	肺	76.0%			
	大腸	65.0%			
	子宮	54.5%			
	乳	70.6%			
◎ 市町検診の精密検査未把握率 〔※対象は40歳～69歳 子宮がんのみ20歳～69歳〕	胃	17.2%	(H21年度)	5%以下	地域保健・健康増進 事業報告 (厚生労働省)
	肺	17.9%			
	大腸	22.8%			
	子宮	39.4%			
	乳	26.5%			
県独自の事業評価項目を8割以上実施の 市町数	胃	10市町	(H23年度)	全23市町	(広島県がん対策課)
	肺	7市町			
	大腸	9市町			
	子宮	9市町			
	乳	8市町			
職域検診の精度向上に向けた、県・保険者間の連携	-	連携体制構築	(広島県がん対策課)		
ウ がん検診の受診率向上					
◎ がん検診受診率 〔※対象は40歳～69歳 子宮がんのみ20歳～69歳〕	胃	32.6%	(H22)	50%以上	国民生活基礎調査 (厚生労働省)
	肺	23.3%			
	大腸	23.3%			
	子宮	40.0%			
	乳	36.9%			
◎ 市町実施のがん検診受診者数 〔※対象は40歳～69歳 子宮がんのみ20歳～69歳〕	胃	44,747人	(H22年度)	6割増	地域保健・健康増進 事業報告 (厚生労働省)
	肺	63,701人		10割増	
	大腸	61,821人		10割増	
	子宮	148,707人		3割増	
	乳	93,333人		4割増	
「広島県がん検診推進員」養成研修の実施市町数	12市町 (H25.1)	全23市町	(広島県がん対策課)		
「広島県がんよろず相談医」認定医師数	養成開始 (H24年度～)	累計900人	(広島県がん対策課)		
「広島県がん検診サポート薬剤師」認定薬剤師数	養成開始 (H24年度～)	累計900人	(広島県がん対策課)		
県独自の受診者数調査回答率80%以上の維持	82.4% (H23年度)	80%以上	(広島県がん対策課)		

表の◎印は「全体目標」又は「分野目標」、その他は「参考指標」

(3) がん医療

項目		現状	目標	現状の出典
ア 医療提供体制の充実強化				
◎ 拠点病院の機能強化と医療連携の充実による、がん医療の均てん化の推進		全7医療圏に拠点病院整備 (国指定11、県指定5) (H24年度)	機能評価の実施 及び体制充実	(広島県がん対策課)
拠点病院の地域連携パス適応患者数		2か月延べ285件 (H24.6-7)	現状より増加	拠点病院現況報告
◎ 「広島県がん医療ネットワーク」による医療連携体制		5大がんの ネットワーク構築 (H24年度)	運用の検証実施	(広島県がん対策課)
「広島県がん医療ネットワーク」参加施設数	乳	178施設	(H25.3)	現状より増加 (広島県がん対策課)
	肺	215施設		
	肝	263施設		
	胃	303施設		
	大腸	269施設		
「広島県がんよろず相談医」認定医師数【再掲】		養成開始 (H24年度～)	累計900人	(広島県がん対策課)
「広島県がん検診サポート薬剤師」認定薬剤師数【再掲】		養成開始 (H24年度～)	累計900人	(広島県がん対策課)
「広島県がん医療ネットワーク」の検診施設等における、がん早期発見体制の強化		検診マニュアル作成 (H24年度)	マニュアルの普及と 実践の拡大	(広島県がん対策課)
◎ 小児がん医療提供体制の拠点化の推進		広島大学病院を 中心に一定の集積 (H24年度)	集約化の推進と 連携強化	(広島県がん対策課)
5大がん以外の医療提供体制の情報提供		現状把握が不十分 (H24年度)	県民への情報提供の充実	(広島県がん対策課)
イ 医療内容等の充実				
◎ がん治療の各分野 の人材育成と適正 配置等	拠点病院の「放射線治療専門医」数	計21人	10人増	拠点病院現況報告
	拠点病院の「医学物理士」数	計4人	5人増	
	拠点病院の「がん薬物療法専門医」 配置	9/16拠点病院	全拠点病院	
	拠点病院の「がん薬物療法認定薬剤師」 配置	11/16拠点病院	全拠点病院	
	拠点病院の「がん化学療法認定看護師」 配置	15/16拠点病院	全拠点病院	
	各圏域の拠点病院の学会病理専門 医(常勤)の配置	6/7圏域	全7圏域	
◎ 「高精度放射線治療センター(仮称)」の運営開始		整備中 (H22年度～)	運用開始 (H27)	(広島県がん対策課)
拠点病院における放射線治療の連携体制の整備		機能・役割分担等の検討中 (H24年度)	連携体制整備	(広島県がん対策課)
レジメンの審査体制の整備		—	外部審査体制の検討	(広島県がん対策課)
周術期の口腔ケア提供体制の普及		モデル事業実施、 提供体制整備着手 (H20年度～)	普及・充実	(広島県がん対策課)

表の◎印は「全体目標」又は「分野目標」、その他は「参考指標」

## (4) 緩和ケア

項目		現状	目標	現状の出典
ア 施設緩和ケアの充実				
緩和ケア病棟のある二次保健医療圏域数		5/7圏域 (H24年度)	全7圏域	(広島県緩和ケア支援センター)
◎ 施設緩和ケア(病棟, チーム, 外来)の活動実績の把握等		整備状況の把握 (H24年度)	活動実績の把握・評価・公表	(広島県緩和ケア支援センター)
イ 在宅緩和ケアの充実				
◎ 地域の実情を踏まえた在宅緩和ケアの体制づくり		—	在宅緩和ケアコーディネーター配置等	—
在宅緩和ケアに係る地域資源マップを整備している二次保健医療圏域数		—	全7圏域	—
介護保険施設等へのアドバイザー派遣施設数		90施設 (H16-23年度累計)	70施設増	(広島県緩和ケア支援センター)
ウ 人材育成の充実				
◎ 多職種人材育成, 緩和ケア医師研修の質の充実	福祉関係の専門研修修了者数	655人 (H16-23年度累計)	500人増	(広島県緩和ケア支援センター)
	拠点病院での「緩和ケア・がん性疼痛認定看護師」の複数配置	66人 (H24.9)	全拠点病院での複数配置	拠点病院現況報告
	医師研修(基礎研修)修了者数	1,024人 (~H23年度)	—	(広島県緩和ケア支援センター)
	拠点病院医師	672人 (~H23年度)	400人増	—
	診療所医師	182人 (~H23年度)	600人増	
医師研修(フォローアップ研修)修了者数	—	300人	—	
エ 緩和ケアに対する正しい理解の促進				
◎ 緩和ケアに対する県民・医療従事者の正しい理解の促進		講演会等の開催 (~H23年度)	情報発信強化	(広島県緩和ケア支援センター)
緩和ケアに係る講演会等への参加者数		2,401人 (~H23年度)	3,000人増	(広島県緩和ケア支援センター)
オ 県全体の総合的取組・拠点機能の強化				
広島県緩和ケア支援センターの拠点機能強化		緩和ケア支援センター設置等 (H16~)	緩和ケア支援センターの機能強化	(広島県緩和ケア支援センター)

表の◎印は「全体目標」又は「分野目標」、その他は「参考指標」

## (5) 情報提供及び相談支援

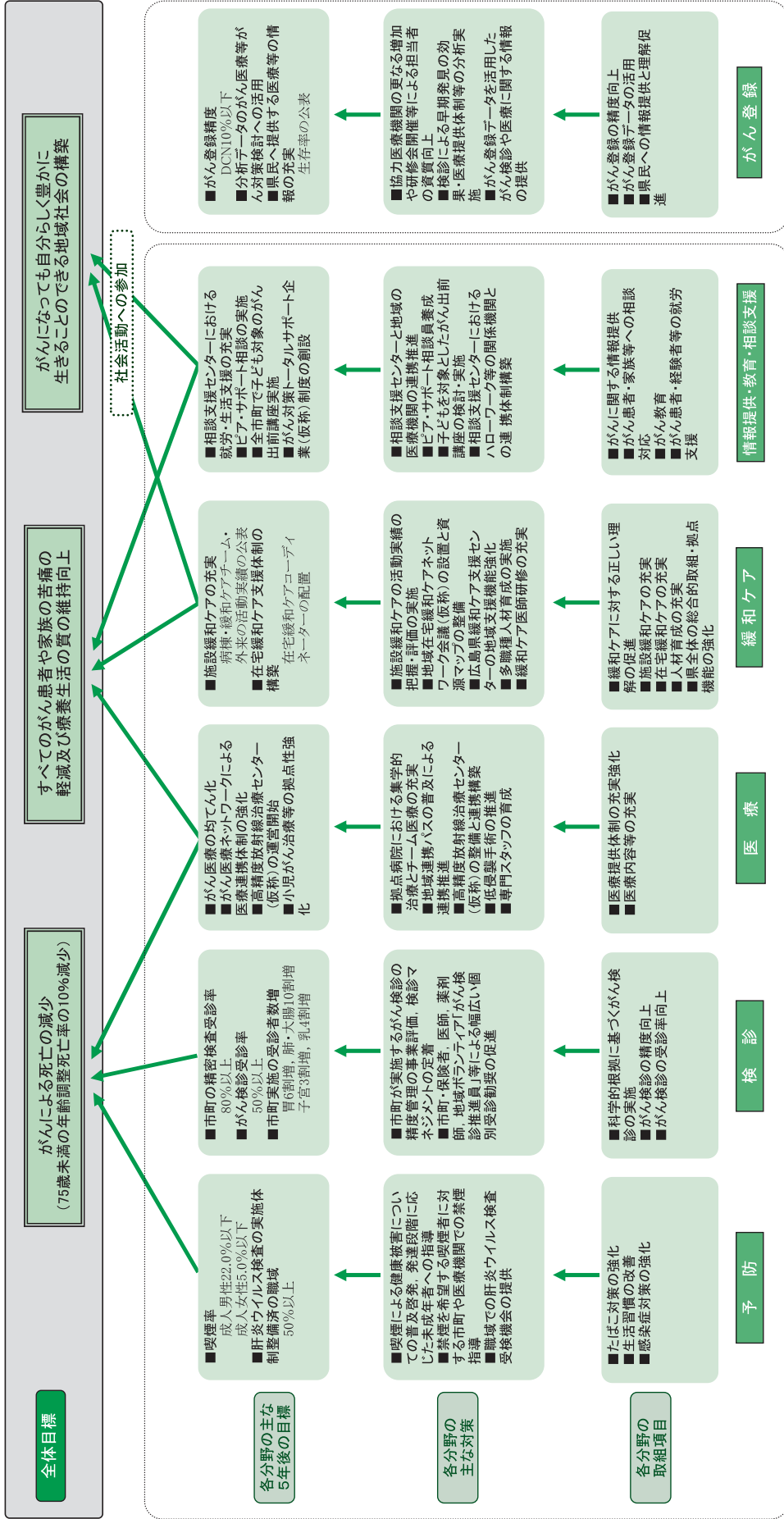
項目	現状	目標	現状の出典
ア がんに関する情報提供			
◎ 総合的ながん対策に取り組む民間企業等の評価制度の創設による、民間企業等と連携したがん対策の実施	—	評価制度創設	—
「がん対策トータルサポート企業(仮称)」として評価する民間企業等の数	—	15社	—
「広島がんネット」のアクセス件数	24,783件 (H23年度)	現状より増	(広島県がん対策課)
イ がん患者・家族等への相談対応			
相談支援センターの院外相談件数	1,750件 (H23年度相談支援センター合計)	すべての相談支援センターで増	(広島県がん対策課)
相談支援センターの患者サロン参加者数	1,952人 (H23年度相談支援センター合計)	すべての相談支援センターで増	(広島県がん対策課)
◎ ピア・サポートによる相談支援センターと連携したがん相談の実施	—	連携による相談実施	—
ピア・サポートとして相談支援を行う人材の養成人数	—	22人	—
ウ がん教育			
◎ 子どもを対象としたがんの出前講座実施	—	全23市町	—
エ がん患者・経験者等の就労支援			
◎ ハローワークや社会保険労務士等との連携体制づくりを行っている相談支援センター	—	すべての相談支援センター	—
◎ 総合的ながん対策に取り組む民間企業等の評価制度の創設による、民間企業等と連携したがん対策の実施【再掲】	—	評価制度創設	—
「がん対策トータルサポート企業(仮称)」として評価する民間企業等の数【再掲】	—	15社	—

## (6) がん登録

項目	現状	目標	現状の出典
ア がん登録の精度向上			
◎ 地域がん登録のDCN10%以下の維持 (がん登録の精度:死亡情報で初めて把握された人の割合)	DCN9.9% (H20) ※上皮内がんを除く	DCN10%以下	広島県のがん登録 (広島県ほか)
地域がん登録協力医療機関の数	138施設 (H24.12)	150施設	(広島県がん対策課)
実務研修修了者配置の地域がん登録協力医療施設の割合	72.5% (H24.12) (100/138施設)	80%以上	(広島県がん対策課)
イ がん登録データの活用			
◎ 地域がん登録データによる生存率等の分析実施と、がん対策の企画・評価への活用	試行実施 (H23年度)	活用開始, 分野拡大	(広島県がん対策課)
院内がん登録データを施設内のがん診療の実態把握と評価に活用	院内がん登録実施	診療の実態把握と評価	(広島県がん対策課)
地域がん登録資料の利用申請件数	平均7件 (H21-23年度)	平均10件	(広島県がん対策課)
ウ 県民への情報提供と理解促進			
◎ がん登録データの分析結果を踏まえた県民への情報提供	パンフレット作成等 (H24年度)	情報提供充実	(広島県がん対策課)

表の◎印は「全体目標」又は「分野目標」、その他は「参考指標」

# 全体目標と分野別取組との関係図





# 「がん対策日本一」の実現 ▶▶▶

## 現状

- 県の人口 / 2,860千人 (平成22年度)
- がんの有病者 / 55,687人 (平成20年度) [うち40-64歳 17千人]
- 高齢化率 / 23.9% (H22) [⇒ 5年後28.2%]
- がんによる死亡者 / 8,151人 (平成23年度) [死亡原因の1位]
- がんの罹患者 / 18,896人 (平成20年度)
- 75歳未満のがんによる年齢調整死亡率 (人口10万人当たり死亡者数) 88.0人 (平成18年度) ⇒ 80.5人 (平成23年度) (8.5%減)

総合的ながん対策の基盤づくり (第1次計画の取組)

質の充実と県民一人ひとりの行動促進 (第2次計画の取組)

## 基本理念Ⅰ

県内のどこに住んでいても、どんながんであっても、

### がんにならない 予 防

予防可能ながんの予防

受動喫煙  
防止



肝炎ウイルス検査



子宮頸がん予防  
ワクチン接種支援



肝疾患診療支援  
ネットワーク



### 早く見つけて 検 診

意識段階に応じた受診率向上の取組と  
市町検診の精度の向上

無 関 心 期 普及啓発の推進

↓

関 心 期 個別受診勧奨の推進

↓

準 備 期 受診しやすい環境づくり

↓

検診の受診



### がんにならない生活習慣の浸透 有効ながん予防対策の実践

- 喫煙による健康被害についての普及啓発の推進
- 喫煙をやめたい人への禁煙支援

	喫煙率	現状値	目標値
成人男性		26.9%	22.0%
成人女性		5.5%	5.0%



- 肝炎ウイルスキャリアに対するフォローアップシステム構築による「がん化」防止

### 対象者すべてが効果的な がん検診を確実に受診

- 市町検診における精密検査までの確実な受診
- 受診行動につながる普及啓発の強化
- 様々な立場から一人ひとりに受診を働きかける個別受診勧奨の定着

受診率	現状値	目標値
胃	32.6%	50.0%
肺	23.3%	
大腸	23.3%	
子宮	40.0%	
乳	36.9%	

※対象は40歳～69歳 (子宮がんのみ20歳～69歳)

県民  
(理解・予防)

県民  
(検診受診)

ボランティア  
(がん検診推進員)

## 基本理念Ⅱ

県民みんなが、がんを自分にも起こり得ることとして関心

### 「地域」における総合対策

- 学校等でのがん出前講座
- かかりつけ医・薬局、ボランティア等による受診勧奨
- 在宅の患者等を支える医療・介護・福祉の連携

県民総ぐるみ



県民一人ひとりに届く、正確で効果的な情報提供

が ん 登 録



## 目標

- がんによる死亡の減少／75歳未満年齢調整死亡率⇒72.5人(H28)(10%減)
- すべてのがん患者や家族の苦痛の軽減及び療養生活の質の維持向上
- がんになっても自分らしく豊かに生きることのできる地域社会の構築【新】

必要な手立てや情報を受けることができ、安心して暮らせる広島県

## しっかり治す 医療

がん診療連携拠点病院と  
がん医療ネットワークを核としたがん医療連携体制

がん診療連携拠点病院 ●手術、化学療法、放射線治療 ●緩和ケア、相談支援、情報提供

広島県がん医療  
ネットワーク

検診・検査  
施設

精密診断  
施設

治療施設  
(手術等)

連携  
パス

フォローアップ  
治療施設

●乳がん ●肺がん ●肝がん ●胃がん ●大腸がん

高精度放射線治療センター（仮称） ●高度な放射線治療

診断時からの緩和ケア



## 自分らしく豊かに生きる 療養生活

拠点病院と患者団体による相談支援体制と  
患者のニーズに応える情報提供

相談 ●相談支援センター ●フレンドコール

情報提供 ●地域の療養情報

その他の支援

●職場の協力 ●支援団体

介護・福祉



かかりつけ医から高度ながん医療提供機関まで、  
役割分担と連携で一人ひとりを支える医療体制の構築

全体的な医療の質の向上

- 拠点病院の機能強化と医療ネットワークの充実
- 5大がん以外の医療体制の現状把握と情報提供
- 専門医や専門スタッフの育成
- 体にやさしい低侵襲手術の普及
- かかりつけ医・薬局等のがん対策への参画
- 医療従事者への研修の充実による、診断時からの緩和ケアの推進
- 施設緩和ケアの活動実績を把握・評価・公表する仕組みづくり



集約化による高度な医療の提供

- 高精度放射線治療センター（仮称）の整備と連携体制構築
- 小児がん治療の拠点化の推進
- 県がん拠点病院である広島大学病院の機能強化

“がんと共に”自分らしく  
豊かに生きるための  
療養生活支援体制の構築



- 医療・介護・福祉の連携による在宅での緩和ケアの実施体制づくり
- 患者団体・支援団体の活動活性化
- 経験者等が相談支援を行う「ピア・サポート」人材の育成
- 子どもを対象としたがんの出前講座実施
- 相談支援センターにおける就労支援等に関する相談体制の充実
- 評価制度の創設による民間企業等の主体的な取組の促進

評価

診療所・薬局

(よろず相談医等)

企業

(従業員支援)

がん経験者

(相談支援)

介護施設等

(療養支援)

をもち、それぞれの立場で予防や検診も含めた「がん対策」に取り組む社会

## のがん対策

「職域」における総合対策

- 産業医を通じたがん予防や検診に関する指導
- 企業内での検診の普及啓発や受診勧奨
- 治療を続けながら就労継続できる環境づくり

- 一人ひとりの行動につながる がんに関する情報の発信
- がんに関する正しい理解の促進

広島がんネット

<http://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/gan-net/>



- 精度の高い「がん登録」による正確な情報・「がん対策日本一」の客観的な全体評価